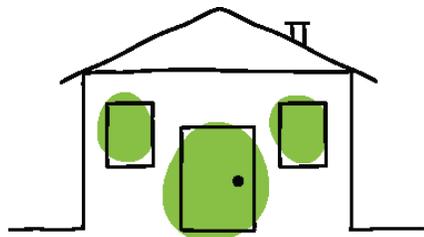


家庭内の安全を確保

KEEPING HOME SAFE



なぜこうになってしまうのか？

アルツハイマー病や認知症の人にみられる傾向：

- 平衡感覚の障害や歩行困難によりつまずく。
- 視力の低下によって見えにくくなる。
- 水道やストーブ、オーブンなどを切るのを忘れる。
- 包丁の使い方や、火がついているものの正しい使い方を忘れる。

アルツハイマー病や認知症の人は何が危険で、どう安全に取り扱うかを判断することが難しくなります。気持ちを落ち着かせ、家の中で戸惑わないよう手伝うことが事故の予防につながります。

あなたにできることは？

物事をシンプルに保つ

- 部屋は常に整理された状態を保つ。
- 頻繁に使うものはいつも同じ場所に置いておく。
- 壊れやすいものや必要ないものは片付ける。

床を確認する

- 小さい絨毯(ラグ)や分厚い絨毯、また床にある滑りやすいものはすべて取り除く。
- 床にワックスをかけたり、磨いたりしない。
- 床に物を置かないー電気コード、本、おもちゃ、カバン、箱など。
- 浴室や台所のフロアは常に乾いた状態にしておき、濡れた足で歩かせない。
- 寄りかかっても問題のない、丈夫なテーブルや椅子を使う。

危険なものは置かない

- すべての薬(ビタミン剤、アスピリン、処方せん薬など)は、鍵のかかる箱やキャビネット、引き出しの中に閉めておく。
- 刃物やハサミ、拳銃、鋭い工具、マッチ、ライターなどは見えない場所か、鍵のかかる場所に入れておく。
- 洗剤類は全て高い棚の上か、鍵のかかる場所に収納する。
- ストーブやオーブンから取手を外しておく。

以下のような場所で一人にしない

- 台所でストーブやオーブンを使っている時。
- 浴室で水が出ている時。
- 火の付いたタバコや葉巻、パイプなどがある場所。
- 開けっぱなしや鍵のかかっていないドアや門の近く。



844.HELP.ALZ
AlzheimersLA.org

© 2022 Alzheimer's Los Angeles
Supported by DHHS, ACL
(#90AL0002-01-00 & 90ADPI0049)

